

MY 和蠟燭

大人から子供まで楽しめる、MY 和蠟燭キットを作る！ 伝統的な古い和蠟燭の形から離れた自分の好きなようにカスタマイズでき、再利用できるフルパッケージ！

和蠟燭とは？

蠟の原料に檜の実から取った植物性油脂を使用し、和紙および灯芯草の髓から作った芯の周りに手で塗装を行い、乾燥させて作る昔ながらの蠟燭。



和蠟燭の魅力

- 古くから多くの伝統的日本文化：舞妓、歌舞伎、仏壇などに必要不可欠であった
- 溶かして再生利用可能
- 芯は燃やせば、生分解性でき、
完全リサイクル性!!!

伝統産業におく問題点

- 西洋ローソクや電気の普及によって日常生活での活用の場が減少
- 現代では主に仏壇やお茶席、能などの伝統的な行事でのみ使われているため知名度と需要の低下
- 技術を受け継ぐ職人不足

アイデア

- 和蠟燭、塗料、芯、説明書を含んだ、自由に和蠟燭を楽しめるパッケージ商品
- 自分の好みに和蠟燭のデザインや柄をカスタマイズ可能なDIY商品にアレンジ

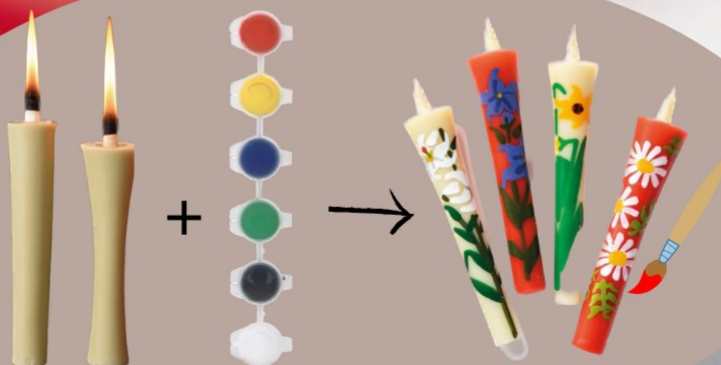
目的

和蠟燭に現代の流行りに合った、新しい活躍の場を作り、人々が直接手に取って実感することで和蠟燭の知名度と存在を広め需要を喚起し、日本の大切な伝統を守ること。

アイデアの特徴・工夫

- 再生利用可能な塗料と香料を開発
- 檜の実の有効活用
- リサイクル方法、再生利用方法、についての説明書

全ての要素を再生利用可能にすることで、元々の和蠟燭の魅力である完全リサイクル性を持続



商品のターゲット層

主に外国人、子供からお年寄り幅広い層で少し手芸を友達など家族でしたい人、DIY好きな人がターゲット層

教科ごとの知識

化学 x 和蠟燭

- 化学の知識を活用し、完全リサイクル性かつ、持続可能で長期保存可能な塗料と香料の作成するために必要な材料や化学物質の比率・配合を編み出す。
- また、人々にリサイクル方法を知ってもらうために自作の和蠟燭リサイクル方法を化学の生分解の知識を使い、編み出す。

美術 x 和蠟燭

- 美術の知識を活用し色の組み合わせを理解することで、より良く簡単に統一した素敵な和蠟燭を作成できる
- 季節ごとのイベント（ハロウィン・クリスマスなど）に合わせて付属の塗料の色の組み合わせを考慮することによって、蠟燭をより魅力的にし、イベントにあった雰囲気を醸し出し、魅力的にさせるため。

和蠟燭と洋蠟燭の違い 和ろうそく

- 檜の実や木蠟といった植物性の蠟を原材料として使用
 - 芯には「和紙」
- ### 洋蠟燭
- パラフィンと呼ばれる石油から作成
 - 芯には「糸」を使用している